

デジタル田園都市国家構想第3期長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）パブリックコメント結果

■意見募集期間 令和5年12月15日～令和6年1月15日まで

■意見提出者 3名

■提出意見数 13件

■意見及び意見に対する回答 下記のとおり

通番	記載ページ	意見	意見に対する回答	担当課	計画案修正の有無
1	P.3	補助金ありきの無理なデジタル化を中止してほしい。	本市のデジタル化の推進にあたっては、ご指摘のように国等の補助金ありきで無理にデジタル化を進めるのではなく、補助金の有無に関わらず、市として真に必要な「すべての人に優しく、安心を感じることができるデジタル化」を検討し進めてまいります。	政策デザイン課 デジタル行政推進課	無
2	P.9	企業立地件数（指定数）※年間件数5件（2028年度） P11 スマート農業導入支援事業の補助件数 ※年間補助件数50件（2028年度） 新規就農支援者数10人（2028年度） との記載がありますが、他課とどう連携をとって目標数値を実現されようとしているのかその仕組みをフロー図などで示していただけませんか また、例えば企業立地件数など議会の質問を見ても新規に立地できた企業などありませんし、市内企業は、米原市に大きな工場を建設されているのが実態です。 この企業立地件数（指定数）※年間件数5件（2028年度）は、他市から誘致する数値なのかもわかりやすく記載にしていただけませんか	庁内関係課の連携は重要な視点であり、企業立地については商工振興課、スマート農業導入支援事業については農業振興課を中心に進めつつ、政策連携や規制緩和などの課題の状況により必要に応じた関係課で連携が取れるよう体制整備を図ってまいります。一方で、地方版総合戦略は地方創生に資する指針及び事業等をお示しするものであり、事業の具体的手法やスキームについては別途個別計画等で検討を進めていきたいと考えております。 また、「企業立地件数（指定数）」は、他市からの誘致に関わらず、新設・増設を含めた長浜市の企業立地助成金制度の指定件数を示しています。KPIが「他市から誘致する数値」かどうかという点について、定義を明確にするためKPI欄に「企業立地助成金制度の指定件数」であることを加筆します。	政策デザイン課 商工振興課 農業振興課	有
3	P.13	SNS 発信数 660件（2028年度）との記載がありますが、現状の市のホームページを見ても、新着情報に掲載せず課のカテゴリー欄に指摘されればこそと添付する課や、新着情報に記載してもこの情報がどこからの原因で添付しているのか全く不明な局もあります。これでどうこの発信数で市民や見いただいているお客様に適切な情報を発信したといえますか？そので、この発信数カウントの指標を示していただけませんか その大きな理由として以下の参考資料を確認してください。 この情報は、議場で動議があって質疑されたものですが、この程度が現在の長浜市です。 これで、各部長が市民にわかりやすい情報をホームページで公開していますと答弁、これからも続けますか？これまでの重要なパブコメも他のプランで検討していますと特に企画部門では、逃げ一方の回答でした、正々堂々向き合って回答いただきたく願うものです。 また、指摘されると「お詫び」でなくこそと訂正です。人道を疑います。 これは、一例です。 令和5年12月定例会議会発言通告（質疑） [公開日：2023年12月20日][更新日：2023年12月20日]ID:13715 今定例会議会の質疑については下記のとおり通告がありました。 資料をPDFファイルでお届けします。 接続環境等によりダウンロードに時間がかかる場合があります。あらかじめファイルサイズをお確かめください。 添付ファイル 令和5年12月定例会議会個人質疑（12月20日）（PDF形式、88.73KB）	○SNSの発信カウントについて SNS 発信数 につきましては、X（旧Twitter）、LINE、YouTube、Instagram等における発信数を数値目標に掲げており、発信数を年々増加させるべく目標の設定をしております。 また、ホームページに掲載している記事の充実や適正な情報発信につきましては、いただきましたご意見を踏まえ、庁内で情報共有し、今後の改善につながるよう対応を検討してまいります。	広報報道課	無

通番	記載ページ	意見	意見に対する回答	担当課	計画案修正の有無
		<p>指摘されての訂正の情報 お詫びや修正の内容も記載されないのが現状の職員力です。</p> <p>令和5年12月定例会議会発言通告（質疑） [公開日：2023年12月21日][更新日：2023年12月21日]ID:13715 今定例会議会において、議員提出決議案が提出され、それに対する質疑の通告がありました。（議員提出決議案についてはこちらをご覧ください。） 質疑の発言通告書をPDFファイルでお届けします。 接続環境等によりダウンロードに時間がかかる場合があります。あらかじめファイルサイズをお確かめください。 添付ファイル 令和5年12月定例会議会個人質疑（12月20日）（PDF形式、88.73KB）</p> <p>例2 長浜市役所まちあそび部 [公開日：2023年12月20日][更新日：2023年12月20日]ID:12890 シンポジウムの開催 長浜市役所まちあそび部の7月からの活動を振り返るとともに、まちあそび部の取組を周知するため、アドバイザーである若新雄純さんをお呼びし、シンポジウムを開催します。 日時 令和6年1月12日（金曜日）19時～21時 場所 BIWAKO PICNIC BASE（びわこピクニックベース）（滋賀県長浜市元浜町7-5） 内容 若新雄純さんによる講演 トークセッション 対象 関心のある人 定員 30人（要申込・先着順） 参加費 無料 申込 電子申請フォーム別ウィンドウで開くまたは市民活躍課へ直接お電話（0749-65-8711）によりお申込みください。</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	
		<p>この情報公開資料何かおかしくありませんか？ 対象関心のある人？普通は、どのたでも気楽にご参加くださいでは、ありませんか これが市民活躍？の職員力です。残念です デジタル田園都市国家構想は、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ります。そして、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すわけですがこの実態でどう各組織を上位計画を基に、本市のまちづくりを構築できるのですか、しっかり、フロー図の中にもその目的と成果、何を上位計画に示された内容を補完しているのか市民に示し、PDCAを確立できる構想としていただけませんか切に願います。 何度も指摘しても改善されないのが今の実態です。構想成果をあげるためにも職員の研修方法とこれからの改善方法を明記いただけないでしょうか</p>	<p>○その他の事項について ご指摘いただいている課題について、担当課に共有し改善を図ってまいります。 一方で、地方版総合戦略は地方創生に資する指針及び事業等をお示しするものであり、情報発信業務の具体的な手法や研修方法等については、総合戦略に記載するのではなく別の手法により対応を検討してまいります。</p>	<p>政策デザイン課 広報報道課</p>	<p>無</p>

通番	記載ページ	意見	意見に対する回答	担当課	計画案修正の有無
4	指定なし	<p>■長浜市総合計画との関係 について</p> <p>総合戦略は、人口減少の克服と地方創生を実現するための長浜市基本構想の分野別計画のひとつであるため、総合計画を具体化し補完するものと位置付けるとされていますが、現在の各自治体の課題である①子育て環境の充実②移住・定住の促進③ふるさと回帰などの問題は、これで前向きに補完、カバーできるのでしょうかもっと本構想の中で、具体的対策を真摯に記載いただけないでしょうか</p>	<p>当該戦略は、令和5年度からの「長浜市総合計画第3期基本計画」の重点プロジェクトの方向性について、基本的方向や事業の具体化を図ったものですが、戦略の内容は地方創生に資する指針及び事業をお示しするものであり、基本的方向や事業内容の明確化については、各分野別計画や予算編成において進めてまいります。</p>	政策デザイン課	無
5	指定なし	<p>■拠点の形成について</p> <p>本市では、10の日常の生活圏域を設けておられますが、生活圏域ごとに配置する生活機能を集積する拠点の形成と充実を図り、生活利便性の向上や地域コミュニティの醸成を図ります。また、各拠点間を結ぶ、幹線道路の整備など交通ネットワークの充実を図るのどの記載がありませんが、上位計画や関連計画としっかり縦糸と横糸を結ぶ計画を目指していただきたいとおもいますがこの検討をいただけないでしょうか</p>	<p>日常生活圏域に関する具体的な記載はありませんが、生活利便性の向上や地域コミュニティの醸成、地域公共交通ネットワークの構築に向けた基本的方向をお示ししており、上位計画や分野別計画との整合を図りながら事業を推進してまいります。</p>	政策デザイン課	無
6	指定なし	<p>■デジタルの推進について</p> <p>マイナンバーカードの普及など、国が推進するデジタル基盤の整備や社会のデジタル化にあわせ、さらなるデジタル技術の活用にて、住みやすく、活力のある長浜市の実現を目指すことなどを記載いただけませんか</p>	<p>ご指摘の点については、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の基本的な考え方を踏まえることや、デジタル社会実現の方向としての基本方針に、デジタルの活用により「くらしの中で利便性や快適性を実感できるサービスの提供」及び「地域のポテンシャルの向上や課題解決による地域活性化」を目指すことを明記しており、これは、住みやすく、活力のある長浜市の実現を目指す内容として記載しているものです。</p>	政策デザイン課 デジタル行政推進課	無
7	指定なし	<p>■情報公開の原則、評価の実施、説明責任を主体により効果のする構想にさせていただけないでしょうか</p>	<p>当該戦略の事業進捗および評価につきましては、毎年度KPIの達成状況の把握等を行い、周知することを検討します。また、有識者や各分野で活躍する市民から成る「長浜市未来創造会議」等により広く意見を聴取し、その内容を公表することで、効果を発揮してまいります。</p>	政策デザイン課	無
8	指定なし	<p>■内部管理をどうしていくのか記載いただけませんか</p>	<p>内部管理は重要な観点ですが、地方創生に資する指針及び事業等をお示しする地方版総合戦略の趣旨から、当該戦略に記載しておりませんのでご了承ください。</p>	政策デザイン課	無
9	指定なし	<p>■「デジタル田園都市国家構想」で交付していただいた成果の情報を市民にわかりやすく丁寧に公開いただけないでしょうか</p> <p>例えば 民間運営施設の整備支援 BIWAKO PICNIC BASE 滋賀県長浜市元浜町 民間運営施設の整備支援 あそびばはなれ 滋賀県長浜市野瀬町615 民間運営施設の整備支援 上丹生山根邸 滋賀県長浜市上丹生2439 体育館使用、など成果を市民にどのように公開していただけるのかその方法等市民と共有いただけないでしょうか</p>	<p>ご指摘いただいているサテライトオフィスの整備については、令和3年度に国のテレワーク交付金制度を活用し整備しており、下記HPにて整備内容を公表しています。</p> <p>なお、デジタル田園都市国家構想に基づき推進する事業につきましては、毎年度、有識者や各分野で活躍する市民から成る「長浜市未来創造会議」等により事業成果の報告を行ってまいります。</p> <p>https://www.city.nagahama.lg.jp/section/satellite-office/</p>	政策デザイン課	無
10	指定なし	<p>■このように追加上書きするだけで大事な会議が何か市民に知らせたいとの気持ちがあるのかと疑いたくなります。</p> <p>滋賀県のことなのか長浜市のことなのか何を協議し市民の生活を誰がまもるのですか</p> <p>県の重要情報なのですか</p> <p>湖北圏域地域医療構想調整会議（診療機能の調整に関すること） [公開日：2023年12月27日][更新日：2023年12月27日]ID:12283ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きますFacebookでシェアtwitterでツイートするLINEで送る 湖北圏域地域医療構想調整会議（滋賀県ホームページ） 地域医療構想調整会議等の開催情報（滋賀県ホームページ）別ウィンドウで開く 【令和5年度】第3回会議 令和5年12月28日（木曜日） ※詳細はこちら別ウィンドウで開く（12月26日更新） 湖北圏域地域医療構想調整会議の結果（滋賀県ホームページ）別ウィンドウで開く 【令和5年度】第1回会議 令和5年7月6日（木曜日） 【令和5年度】第2回会議 令和5年9月27日（水曜日）</p>	<p>ご指摘いただきました「湖北圏域地域医療構想調整会議」につきましては、滋賀県（保健所）で取り組まれている会議ではありますが、広く市民の皆さんに知っていただくため、市ホームページに掲載しているところです。</p> <p>いただいたご指摘を踏まえ、より市民の皆さんの理解が深まるよう市ホームページ本文の掲載内容を丁寧にするなど工夫してまいります。</p>	広報報道課	無

通番	記載ページ	意見	意見に対する回答	担当課	計画案修正の有無
11	指定なし	<p>■1月1日の新着情報は、「石川県能登地方で発生した地震への本市の対応」情報ではなくまさかと何度も見たが「おにごっこだった。」どうなったのが職員力！残念でした。奇跡の脱出ができたJALの搭乗員のことを忘れないでいただきたい。日頃の訓練とは、その時発揮できると思いませんか。日頃から市民に情報提供する使命の本質を勘違いしている。</p> <p>新着情報・・・抜粋 2024年1月1日 第9回ながはま鬼ごっこ大会の参加者を募集します 2023年12月28日 認知症は高齢者だけではなく若い世代でも発症することがあります。 2023年12月28日 ごみ収集車の火災事故 2023年12月28日 長浜市北部だよりを更新しました 2023年12月28日 令和5年度常任委員会等行政視察報告書</p>	<p>市ホームページは重要な情報発信手段の一つであり、ご指摘いただきました通り、適時適切な情報の掲載が重要と考えております。ご指摘いただいている市ホームページの取り扱いにつきましては、庁内で情報共有し対応を検討してまいります。</p>	政策デザイン課 広報報道課	無
12	指定なし	<p>■事業推進のために知見を持ち合わせた職員をどう育成していくのか明確に記載いただけないでしょうか 日頃からの職員への育成をしっかりと市民に記載し示すことが大事ではないでしょうか</p>	<p>事業推進のための知見を持ち合わせた職員の育成は重要ですが、長浜市人材育成基本方針に基づく各職位に応じた能力開発にあわせて、分野ごとに必要な専門的知識やスキル等を育成する必要があり、当該総合戦略にすべて明記することは難しいと考えています。</p> <p>重要な視点として職員育成に係る所管課に共有するとともに、各課において必要な知見を持った職員育成に努めてまいります。</p>	政策デザイン課 人事課	無
13	指定なし	<p>【はじめに】 デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第三期長浜市まち・ひと・しごと創生戦略(案)についての若干の意見を述べたいと思います。</p> <p>まず、この創生戦略から、「長浜の近未来のイメージ」が感じ取れないことを冒頭で指摘しておかなければなりません。第3期案は、第1、第2期を経て策定されてから、第3期に至るまでの、社会、経済のありよう等々は劇的に変化してきたはずですから、第1、第2期の点検と診断、総括が語られるべきです。何をなさんとし、何が成し得たか、また成し得なかったのか、だから第3期はこうなければならない、という道筋、到達点、新機軸を打ち出せないまま使い古された言葉の羅列に終始してしまっているため、説得力のない絵空事のように感じるのでしょうか。</p> <p>とはいえ、時代がどのように変化しようとも、「変わり映えのない言葉」をもってしても、不断に追い求めなければならない事柄もあります。それは戦略の「不易」の部分であり、戦術では時代に沿った「流行」でなければ時代との齟齬を生むことになってしまいます。点検と診断を踏まえ導き出される言葉こそが、時代に接近し、寄り添ったものとなるはず。前述の「長浜の近未来のイメージ」とは『都市像』と言い換えられます。都市像を「見える化」しなければ説得力を持った総合戦略とはならないのではないのでしょうか。</p> <p>今一つ見落としてはいけないのは、地政学的視点です。地理的、政治的、社会的、軍事的相関関係を考察するのが地政学ですが、軍事は経済に置き換え、政治的論議は脇に置いて、「長浜」という都市が、どのような位置にあり、どんな姿か、どんな姿にしていくのか、それをダイナミックに提言する戦略でなければならないと思います。</p>	<p>広域的な交通網の整備に伴う、本市を取り巻く人口の流動や産業の変化の状況を捉え、まちづくりを検討していくことは重要だと認識しています。</p> <p>令和5年度からの「長浜市総合計画第3期基本計画」では、「長浜に暮らす若者が、現在も、将来も魅力を感じられるまちを創る」ことをまちづくりの重点課題としており、広域的な交通網の整備、都市間連携などの社会情勢の変化を捉えて、若者の転出超過を改善していけるよう今後のまちづくりを検討していきたいと考えています。</p> <p>長浜バイオ大学との連携については、全国的な少子化が進むなか、大学の在り方が全国的に議論されており、魅力的な大学づくりに向けて産学官連携の推進など様々な角度で大学との議論を進めています。ご指摘のとおり高等教育機関として、農業をはじめとした産業との連携や必要な人材の育成が進められる環境づくりは重要であり、インキュベーションセンターとの連携を含め、大学との連携方策が示せるよう引き続き議論を進めてまいります。</p>	政策デザイン課	無

通番	記載ページ	意見	意見に対する回答	担当課	計画案修正の有無
		<p>「長浜」という文字を他都市の名に替えても何ら違和感のない戦略戦術の策定なら意味を失います。本質的な立脚点というか、哲学というか、理念というか様々に表現出来るかと思いますが、その一つとして「SDGsの理念に沿う」という基本も大切なことであり、踏襲しようとしていることは、地球規模で考え絞り込むという点でいいことだと思います。ならば、国の提唱する「Society5.0」の視点からのアプローチもあっていいと思います。「長浜・ながはま・ナガハマ・NAGAHAMA」と、表記を変えて感じる都市イメージを縦糸・横糸に紡いで意味を深めていくような戦略であってほしいと願いながらほんの少しだけ意見を述べさせていただきます。</p> <p>▼さて、これまで幾度となく語られてきた言葉に「デジタル」と冠すれば時代を先行しているかのような錯覚は慎み、新機軸を打ち出すこと。その思考の深淵を彷徨いながらたどり着ついた言葉が、例え使い古された言葉であったとしても、複雑な思考のプロセスの結果、自ずとその深みに違いが出てくるように思うのです。さて、地政学的に長浜は、関西広域圏に位置し、住民の暮らしの志向・視線、また政治・経済的にも京都、大阪に向いています。リニア新幹線の功罪はともかく、建設により想定されるメガロポリスの創出と無関係な位置にあるように見えます。しかし、滋賀県でも特に湖北は、昔から中日新聞が高いシェアを占め購読されているように名古屋のマーケット圏といえます。</p> <p>▼2020年のABC調査の資料では滋賀県全域の中日新聞の部数・市場占有率は50,765部12.6%に対して、京都新聞は67,889部17.4%と京都が上回っています。これを長浜・米原のいわゆる湖北圏で比較しますと23,767部(占有率46.8%)の中日に対して京都は1,639部(2.3%)に過ぎず中日新聞が圧倒し、他のすべての新聞を超えています。これは湖北が、中部経済圏と関西経済圏との円が重なる位置にあることを示す典型と言えます。言い換えますと、中部経済圏と関西経済圏との接点は湖北地域にあると言えます。▼リニア新幹線によるメガロポリス構想に無関係に見える湖北地域は、東京～名古屋間が40分で結ばれると、リニアにもっと近い関西圏といえ、湖北長浜・米原ということになります。時代変化のもたらす地域への波及の大きなエレメントとなることを今後の行政戦略に意識されて行かないと、時代に後れを取ることにならないとも限りません。▼かつて、県下で最も早くに文明開化を成し遂げた地であったにもかかわらず、国土の大動脈である東海道線を関ヶ原から迂回させてしまったため長浜が太平洋ベルト地帯からはずれ、時代に後れを取った過去がありました。逆にその遅れが歴史と文化の醸成に役立つことになり今日の集客産業につながったという皮肉はありますが。取り残されたことによる苦難の時期があつことをしっかりと肝に銘じ、リニア新幹線が劇的変化をもたらすだろうことを注視し今後の行政戦略を構築しなければならないでしょう。</p> <p>▼中部経済界や、大学の紀要などで発表されているリニア新幹線の及ぼす影響の各種の調査や研究においても、長浜は東京から120分圏域に組み入れられており、それを踏まえて戦略・戦術が提起されなければならないでしょう。例えば、現在、鉄道を用いて長浜～名古屋へは、長浜→米原9分・乗り換えて米原→大垣32分・乗り換えて大垣～名古屋33分で計74分。一方、長浜→京都は、乗り換えなしの快速で65分と、その差は長浜→米原間の所要時間分に等しいわずかな差です。ただし、乗り換え時間は考慮していないので、その分名古屋方面に行くためにはさらに時間が必要となります。▼正味の120分圏とするには東京→名古屋40分+80分以内と想定するならば、長浜発名古屋行き直通的鉄道の実現は必須の条件です。リニア新幹線を利用して東京～長浜へは、リニアから在来線への乗り換え時間を20分以内にすれば可能です。東京から120分圏といえば、軽井沢(JR利用で118分)、鎌倉(同60分)、東京の文化人や経営者層の集まる鎌倉のような位置づけが最適ですが、軽井沢は120分圏域に入ります。すなわち、東京における軽井沢のような位置づけでのまちづくりは可能だと言えます。</p>			

通番	記載ページ	意見	意見に対する回答	担当課	計画案修正の有無
		<p>▼物語のあるまち、歴史と文化に彩られたまち、リニアの恩恵を受ける関西圏で唯一の入り口のまち、といったイメージを具現化する施策であってほしいと思うのです。企業誘致→雇用の拡大→入込人口の増加→活性化→財政の健全化というような、昭和・平成前期型のまちづくりは今や通用しなくなっています。人口は減る、過疎化は進むこの流れはいかなる施策を駆使しても止めることはできません。それを前提として人口を増やすことは可能か・・・。可能です。ただ定住人口を増やすのは至難ながら、交流人口の増加策は考えられます。観光やイベントなど、集客産業の振興によって一過性の人口を増加させる方法。また、日本版C C R Cに前向きな法人も存在する長浜でぜひ実現できるような基盤整備をしていただきたいと思います。日本版C C R C構想は、「東京圏からの比較的健康な高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指すものです。そして、高齢者の希望の実現、地方への人の流れの推進などがあげられるこの実現に東京～長浜がリニア新幹線によって120分圏に入ってくるのが大きく貢献するのです。さらに、120分圏がもたらす影響として、東京圏の優れた学識経験者の招聘がし易くなることも考えられます。長浜→名古屋直行電車が可能となれば、なおさら長浜バイオ大学の質的向上にもつながるでしょう。したがってそれには公立化が必須の課題です。バイオ部門ではやはり、生命科学・創薬等のバイオテクニシャンの養成分野よりアグリバイオ分野への取り組みこそ地域の特性が生かせるのではないかと思います。そこで、スマート農業の推進という戦術が打ち出されているのですが、コストが高いこと、就農者のICTリテラシーが充足できない、スマート農業を受け入れる市場自体が縮小していることなど問題が多すぎます。他地域と差別化を図るには、あまり例のない「大規模全天候型農業」を消費者と直結した形で推進することでしょう。いわゆる野菜工場といったものではなく、巨大なドームの中で、気象をコントロールし、病虫害を遮断することで質・量・価格ともに安定供給できる農業を実現しようとするものです。</p> <p>▼長浜市がバイオ産業の創出をめざして設立した長浜バイオインキュベーションセンターの『13年史』には13年間取り組んだ様々な産業創出事業や、人材育成の足跡が記録されています。一地方都市でここまでよくできたものだと感心します。引き続きこの施設が多様なプログラムを展開し、地域活性化に寄与していくことを願うばかりですが、滋賀大学には全国の大学に先駆たデータサイエンス学部が創設されています。起業する人も出てきていると聞いていますが、この人材を地域に生かせるよう、インキュベーションセンターを拡充しデータサイエンス分野の起業家、研究者を獲得できるようしてはどうかと思うのです。これにも、名古屋→長浜を直行できる鉄道の充実化にかかっていると思います。まだまだ、もの申したい事項はありますが、大局観をもって『第三期長浜市まち・ひと・しごと創生戦略(案)』を完成させていただきたいと願うばかりです。</p>			